

取組と目標に対する自己評価シート

年度	平成 30 年度
----	----------

前期（中間見直し）

実施内容
<ul style="list-style-type: none">・地域包括支援センターが施設及び居宅介護支援事業所を訪問し、ケアマネジャーの後方支援を実施。・個別ケア会議の実施。・地域課題解決型ケア会議の実施
自己評価結果
<ul style="list-style-type: none">・4月と7月に地域包括支援センターが施設及び居宅介護支援事業所を訪問し、ケアマネジャーの後方支援を実施し、困難事例や多職種連携が必要な事例について地域ケア会議の開催を勧めているが、9月末現在までに実施した6回の個別ケア会議のうち、居宅介護支援事業所のケアマネジャーが担当している事例は4例となっており、いずれも認知症の事例であった。・地域課題解決型ケア会議については、1回実施し、ゴミ出し等に関する課題について検討している。
課題と対応策
地域ケア会議の開催については、事例の課題を事前に書式にまとめるなど、準備が必要であるほか、地域ケア会議にかけることでもたらされる利点について、ケアマネジャーがイメージできておらず、負担感を持っているのではないと思われることから、地域ケア会議の活用に対して、ケアマネジャーの意識を高めることを目的とした研修会を後期に実施するとともに、後方支援についても継続して実施していく。

後期（実績評価）

実施内容
<ul style="list-style-type: none">・市内の施設及び居宅介護支援事業所のケアマネジャーを対象として、地域ケア会議の推進についての研修会を実施。・個別ケア会議及び地域課題解決型ケア会議の実施
自己評価結果
<ul style="list-style-type: none">・10月に地域包括支援センターによるケアマネジャーの後方支援を実施。・12月12日に地域包括支援センターの主任ケアマネジャーを中心に「地域ケア会議を活用したケアマネジメントについて」研修会を開催し、市内のケアマネジャー29人が参加し、事後アンケート結果では「地域ケア会議を活用してみたい」との回答が55.2%、「活用してみたいがどうしてよいかわからない」が7.1%となっており、今後も地域ケア会議の目的等についての周知や実施に向けての支援を継続していく必要があると思われる。・個別ケア会議実施回数：7回・地域課題解決型ケア会議の実施：2回
課題と対応策
地域ケア会議の推進に向けて、ケアマネジャーへの働きかけを継続的に実施する。 自立支援・重度化防止のためのケア会議の開催が未実施であるため、次年度、試行的に実施する。 今年度、開催した個別ケア会議の事例はすべて認知症の事例であり、個々の事例については関係する介護保険サービス事業者、近隣住民、民生児童委員、金融機関、消防、警察等が集まり、見守り支援のネットワークの構築が図られている。今後、認知症高齢者の増加により、様々な課題が予測されることから、課題を絞った地域課題解決型ケア会議の実施が必要である。